

しんにちは つるおか

No. 110

ファンの笑顔のために

たぐち そう
田口 壮 さん



野球解説者、元メジャーリーガー。1991年オリックス・ブルーウェーブに入団。2000年シドニーオリンピック野球日本代表。2002年から8年間、アメリカのメジャーリーグで活躍し、2度のワールドチャンピオンに輝く。鶴岡市合併・市制施行10周年・藤島文化スポーツ事業団設立20周年記念講演会講師として来鶴。兵庫県出身。

野球を始めたきっかけは、3歳のときに兄と父がキャッチボールをしているのを見て、一緒にしてみたいと思ったことです。9歳で地元の野球チームに入団して以来、野球一筋。2012年に現役を引退しましたが、その後も野球解説や野球教室など常に野球に関わっています。来シーズンはオリックス・バファローズの2軍監督を務める予定です。

メジャーリーグを目指した理由。それは「大きく変わらなければ得るものはない」と考えたことです。アメリカでは日本語も通じず全て一人で勝負しなければならない。不安はありましたが、練習する環境にも恵まれているので、妻に「こんなはずじゃなかった」と言わないことを約束し、アメリカに渡りました。メジャーリーグでデビューを果たしますが、英語でのコミュニケーションやアメリカ球界の環境に慣れず、公式戦出場選手枠から外れたり、マイナーリーグに降格したり挫折を経験しました。心がくじけそうに

なりましたが、自分にこう言い聞かせました。「こんなはずです」と。小さなことや細かなことを気にしていたら勝負はできない。マイナスのこともプラスに考えることが大事なんですね。英語で話す力が伸びなかった分、常にアンテナを張り見る力と感じる力を養いました。チームの状況を観察して、監督が何を求めているのかを感じ、自分の準備につなげていく。そうすることで試合でも結果を残せるようになり、2度の世界一につながったと思います。

「何のために野球をしているのか」と問われれば、私は「ファンを笑顔にするため」と答えます。打って走って土まみれになって、全力で野球をする選手の姿が、観客一人ひとりの笑顔につながるのではないのでしょうか。野球に限らずスポーツの魅力は、筋書きのないドラマが目の前で繰り広げられることです。野球解説でも、分かりやすさはもちろんのこと、野球は楽しいということが一人でも多くの方に伝わり、笑顔になってくれればいいなと思っています。



講演会の様子（9月13日／藤島地区地域活動センター）

声 voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。

◎送り先 本所総務課

☎25-2111内線316

Q 住宅用火災警報器の設置について

我が家では各家族の寝室に住宅用火災警報器を設置していますが、なぜ火の気のない寝室に設置しなければならないのでしょうか。また、台所にはガス警報器を設置していますが、火災警報器も設置しなければならないのでしょうか。

A 就寝中の逃げ遅れを防ぐために寝室に設置する必要があります

煙等を感じて、警報ブザーや音声で火災の発生を知らせてくれる住宅用火災警報器。住宅火災の死因で大きな割合を占める「逃げ遅れ」を防ぐために、全ての住宅に設置が義務付けられています。

◎設置場所 全ての寝室（2階に寝室がある場合は階段の上部にも設置が必要）

◎台所への設置
本市においては任意ですが、出火の危

